

2017年8月25日

(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所
関西熱化学(株) 加古川工場

降下ばいじん 加古川製鉄所 自主管理目標値 (環境対策効果の予測値)
未達成について

加古川製鉄所では、2008年4月から粉じん対策の効果を確認するため、降下ばいじんに関して製鉄所影響値 3.0t/km²/月以下 (対象測定地点：加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所) の自主管理目標値 (環境対策効果の予測値) を設定し、その達成に注力してまいりました。

8月24日、加古川市より7月度の降下ばいじん量の連絡を受けました。加古川神鋼ビルにおける製鉄所影響値は 3.66t/km²/月と自主管理目標値未達成となりましたので、以下に報告させていただきます。

4ヶ月連続して自主管理目標値未達成となりました。地域の皆様には大変ご心配をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

原因究明と対策策定については、7月21日にお知らせしました通り、降下ばいじん対策委員会を発足させ活動を開始しており、年内を目途に取り纏めます。結果については纏まり次第ご報告させていただきます。また、現在行っている降下ばいじん対策を徹底して確実に実施し足元の降下ばいじん量を少しでも低減できるよう取り組んでいきます。

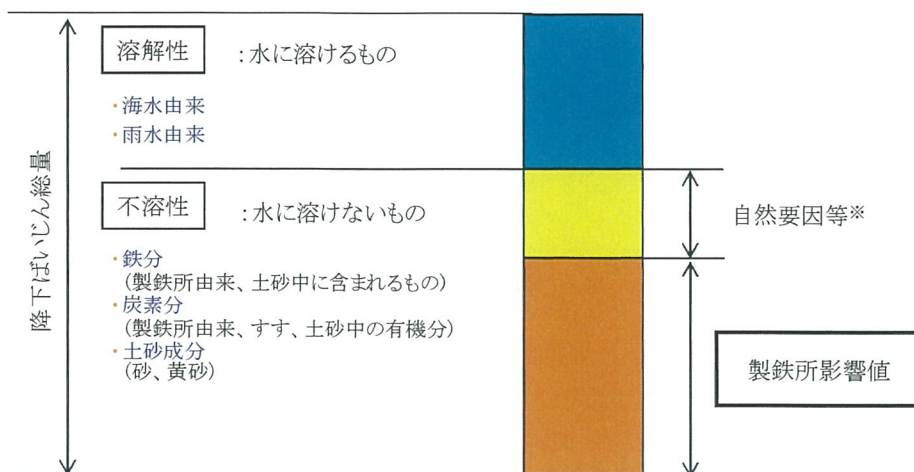
<降下ばいじん 製鉄所影響値^{※1} (加古川市測定) >

測定地点	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
加古川神鋼ビル	t/km ² /月	0.45	1.43	1.85	3.56	3.82	3.61	3.66
別府小学校	"	0.74	0.73	2.23	1.24	2.35	1.62	2.02
尾上小学校	"	0.11	0.46	0.23	1.79	1.02	0.63	0.48

以上

※¹製鉄所影響値

粉じんの管理を強化するため、製鉄所近隣で加古川市が測定している3ヶ所（加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校）の降下ばいじん量について、製鉄所影響値を3.0t/km²/月以下とする自主管理目標値を定め、'08年4月から運用しております。製鉄所影響値の算出の考え方を図1に示します。運用開始前の10年間における製鉄所影響値の最大値は6.6t/km²/月であり、それを半減以下にするという目標です。



※ 自然要因等：環境監視センター、山手中学校、東神吉小学校、志方公民館、平荘小学校の不溶性降下ばいじん量の平均値。

図1. 目標値を設定する降下ばいじんの対象